

千里ライフサイエンスフォーラム開催のお知らせ

2022年10月フォーラム(第349回)

- 収録日時：2022年10月11日(火) 15時30分～16時30分
※新型コロナウイルス感染拡大のため、会場参加は中止といたします。何卒ご了承ください。
- 開催形式：千里ライフサイエンスセンタービル6F 603-4号室にて講演収録後、後日期間限定で録画配信
- 配信対象：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)
- 講師：升間 主計 先生(ますま しゅけい)
近畿大学水産研究所 特任教授・所長
- テーマ：「近畿大学水産研究所の持続可能な養殖への挑戦」
- 講演要旨：

近畿大学水産研究所における養殖研究は1954年からブリ(ハマチ)などの海産魚類養殖および小割式網生簀養殖法の研究開発から始まった。小割式網生簀養殖法は簡易で安価な養殖施設として国内に広く普及し、海面魚類養殖の拡大に大きく貢献した。魚類養殖では対象とする魚種の‘稚魚’、に餌を与えて大きく育てることで行われる(給餌養殖と呼ぶ)。養殖に用いられる稚魚、には天然の資源から漁獲された稚魚と養成親魚から採卵し、ふ化仔魚から育てた稚魚、(人工種苗と呼ぶ)がある。特に後者は天然資源に依存しないことから天然資源の保全を進めながら養殖を行うことができる。近畿大学水産研究所では、海産魚類を中心として1960年から天然資源に依存しない持続可能な養殖を目指し、20種類以上の魚種の人工種苗の生産技術開発の研究に取り組んできている。

本講演では近畿大学水産研究所が持続可能な養殖を目指して取り組んできた歴史の中で日本の養殖業に貢献してきたクロマグロ、マダイなどの研究、さらにウナギ研究などについて、その歴史と現状を紹介する。

● 講師プロフィール：

学歴：広島大学水畜産学部水産学科。九州大学農学部(論文博士)。

職歴：1980.3-1995.3 (社)日本栽培漁業協会伯方島/八重山事業場 技術員、1995.4-2003.9 同奄美事業場 場長、2003.10-2011.3 (独)水産総合研究センター奄美/宮津栽培漁業センター 場長、2011.4-2012.3 同日本海区水産研究所資源生産部 部長、2012.4-2015.3 近畿大学水産研究所白浜実験場 教授、2015.4-2016.3 近畿大学水産研究所・水産養殖種苗センター 教授・センター長、2016.4-2020.3 近畿大学水産研究所 教授・所長、2020.4-現在 同特任教授・所長

専門分野：魚類増養殖学・種苗生産学

主なる著書：『海とヒトとの関係学① 日本人が魚を食べ続けるために』(共著)西日本出版

『今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしい 養殖の本』(共著・監修)R&Tブックス/日刊工業新聞社

『シリーズ 水産の科学6, マグロの科学』(共著)朝倉書店

主なる講演テーマ：近畿大学水産研究所がこれまでに持続可能な養殖に向けた研究の中で養殖技術、種苗生産技術、養殖魚の普及などの取り組みについて紹介する

参加対象/参加費：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)/無料

録画配信希望のお申込はご不要です。録画配信の準備が整い次第、視聴方法の案内メールを送らせていただきます。

申込先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団「千里ライフサイエンスフォーラム」担当

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 Tel: 06-6873-2006 Fax: 06-6873-2002

E-mail: srlf-forum@senri-life.or.jp (HP: <https://www.senri-life.or.jp/>)